

# 地域学科 地域創造コース

募集予定

10人

わたしの  
AO入試



全文は  
Webで!



## 地元民が見過ごしている入善町の魅力を伝えたい

僕の祖母が暮らす富山県入善町は日本海に面した漁師町。でも、「若者は漁業を嫌がり、町を出ていってしまう」という話を聞きました。僕の地元・岐阜県には海がないので、身近に海がある入善はとて魅力的なのに。そんな出来事から地域の魅力を人々に伝える活動がしたいと思うようになり、地域学が学べる鳥大のこのコースを進路に選択。フィールド演習など実践的な学びができること、AO・推薦1と受験チャンスが多いことも決め手になりました。オープンキャンパスは夏・秋と2回参加。AOを受験した先輩から「地域学に関する本や新聞を読んで知識を蓄えて」といった助言がもらえ、先生方の研究内容を聞いてますます興味が湧きました。

## 故郷の特徴を知ることが2次選考突破のカギ

面接は丸暗記ではなく、ポイントを押さえつつそのとき頭に浮かんだ自分の言葉で話すよう心がけました。2次選考の対策で特に力を注いだのは苦手な「課題論文」。過去問を3年分ほど解きました。すると添削してくれた社会の先生から「自分の地域のことを知らなすぎる」との指摘が。自分の意見を記述する上で地元の過去・現在の情報や取り組みを知ることが不可欠、一から調べ直しました。本番のテーマは「格差社会と地域」。難しかったけど、具体的な例を示しながら自分なりの考えを展開することができました。入学後、中山間地域のお祭りに参加したことから鳥取の方との交流が生まれました。今後の学びに生かせそうでワクワクしています！

2年

木村 日翔さん

岐阜県立大垣南高等学校出身

MY FAVORITE "TOTTORI"

海のレジャーを満喫中！

鳥大から程近い賀露海岸で海水浴やビーチバレー、魚釣りをするなど、青く澄んだ日本海を思いっきり楽しんでいます。小型船舶の免許を持っているので、いつか沖で船釣りもしてみたい！



## 2019年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2019年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2020年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して  
求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師(1名)が「町内会 一歴史・行政との関わり・地域代表性・公共性」についての講義(75分)を行い、その後、受験者との質疑応答(15分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングで説明された町内会が直面している課題と、その課題を乗り越えるために町内会が備えるべき公共性について、スクーリングの内容を要約するもの(400字以内)と、身近な地域の課題に取り組むために町内会はどのような役割を果たすことができるのかを論述するものでした(600字以内)。
グループディスカッション	ワールドカフェ方式を採用し、受験者は5名ずつ4グループに分かれて1ラウンド目を14分間、2ラウンド目以降をそれぞれ22分間として、検討を行い、メンバーを入れ替えながら4ラウンドの討論を繰り返して、議論を深めました。テーマはスクーリングの内容を踏まえたもので、ラウンド毎に変更しました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。

## ●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性
2次(書類審査)	○	○	○	○	○
2次(スクーリング)	○	○	○	○	○
2次(課題論文)	○	○	○	○	○
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○	○
2次(面接)	○	○	○	○	○